

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

山形県 新庄市

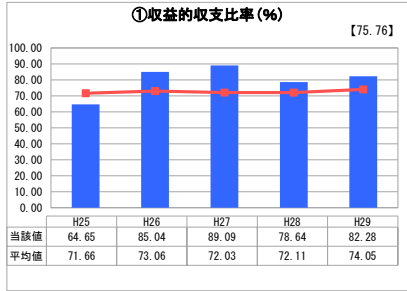
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)	
-	該当数値なし	1.59	4,536	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
36,347	222.85	163.10
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
573	0.70	818.57

**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成29年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



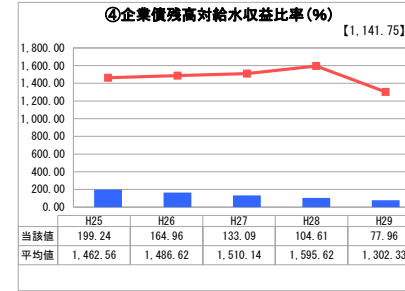
「単年度の収支」



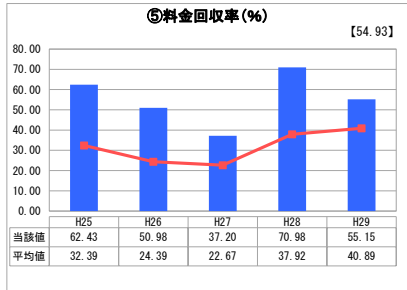
「累積欠損」



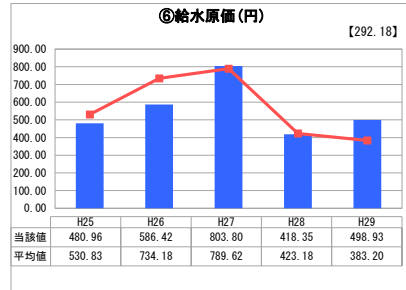
「支払能力」



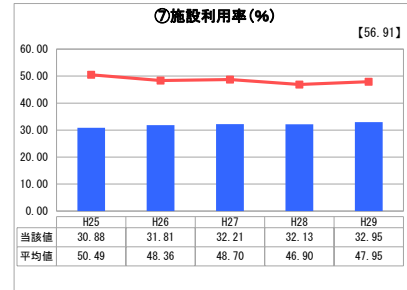
「債務残高」



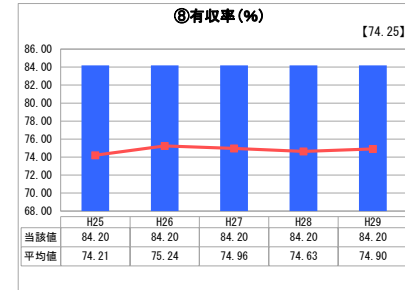
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

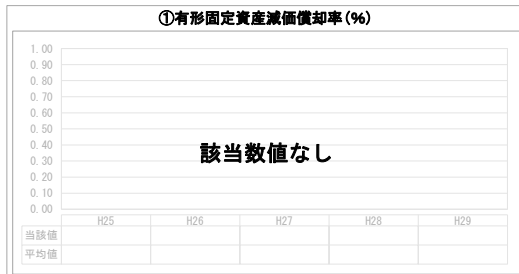


「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

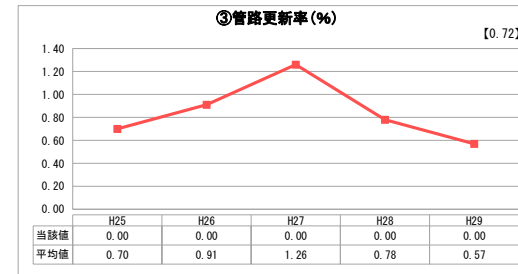
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

年間総有収水量は、社会情勢等の影響により少ない。使用料収入が増えず、経営に影響を与えている。施設利用率も低い状態が続いている。経営改善のための使用料の改定については、上水道使用料との関係もあり、状況を見極めながら判断する必要がある。給水原価は、施設の修繕に係る費用の増加により前年より高くなった。給水原価が上がり、料金回収率が低下した。

### 2. 老朽化の状況について

耐用年数が経過している施設が数多くある。経営状況を踏まえ、計画的な対応を進めていく必要がある。

## 全体総括

健全経営を図るため、上水道事業と経営統合の調整を進め、平成30年度に統合することとしている。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。